

# クロレート S の冬期散布によって、散布 17 か月後の翌年初夏までスギナの発生を抑制できる（南相馬市）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業  
小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証  
研究課題名 保安全管理期間中の雑草管理（南相馬市）  
担当者 小椋智文、佐藤優平

## I 新技術の解説

### 1 要旨

営農再開地域では、再開準備に当たって避難期間中に繁茂したスギナの防除対策が必要である。そこで、保安全管理期間中の1月（冬期）に塩素酸塩粒剤〔クロレート S〕を散布してスギナを防除したところ、翌年初夏までスギナの発生を抑制できた。

- （1）保安全管理期間中の畑地のスギナ発生を抑制するため、塩素酸塩粒剤を2021年1月下旬に10a当たり40kgを全面土壌散布した。
- （2）塩素酸塩粒剤は当年の春から夏のスギナ発生を抑制し、その効果は、散布17か月後の2022年6月まで継続した（図1）。

### 2 期待される効果

- （1）保安全管理期間中の適切なスギナ防除対策によって、円滑な営農再開が期待できる。

### 3 活用上の留意点

- （1）塩素酸塩粒剤〔商品名：クロレート S〕は医薬用外劇物である。
- （2）推奨散布時期は11～3月（つくしの原型である越冬芽が地表に集まる頃（図2））であるが、散布時や散布後に強い降雨があると効果が低下する可能性があるため、なるべく晴天が続く日に散布する。
- （3）10aあたりに必要な薬剤の購入費用は約20,000円である。

## II 具体的データ等

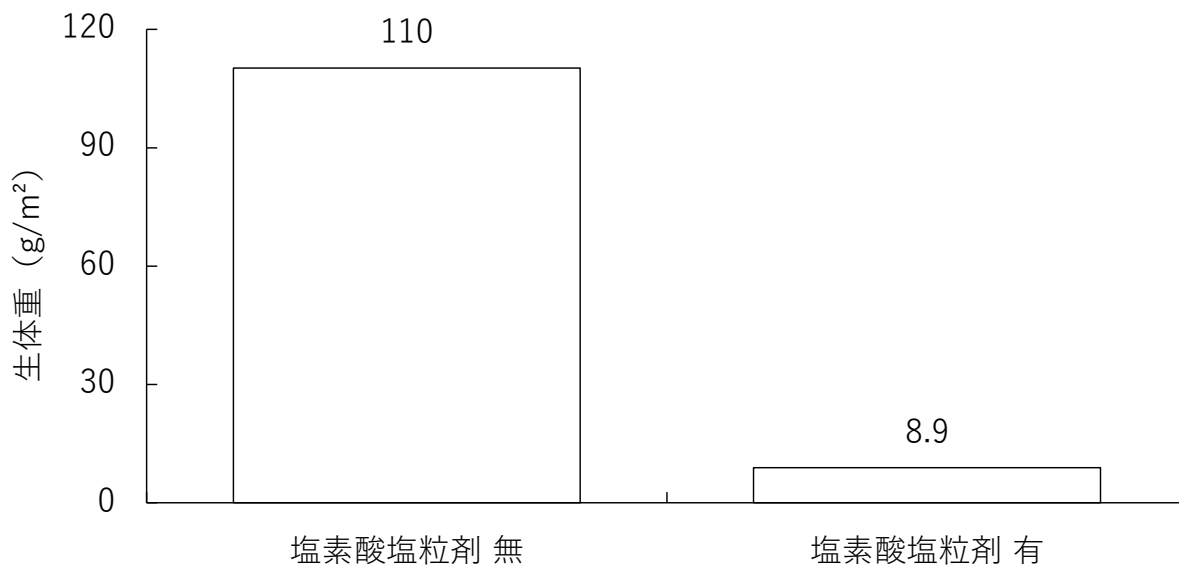


図1 散布17か月後のスギナの生体重（2022年6月3日）



図2 塩素酸塩粒剤散布適期の地表面の様子（越冬芽出現）（2022年11月15日）

## III その他

### 1 執筆者

小椋智文

### 2 実施期間

令和4年度

### 3 主な参考文献・資料

- (1) 除染後畑地のスギナ防除対策（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 2021年3月）
- (2) 令和3年度営農再開実証技術情報 保全管理期間中の冬期にクロレートSを散布すると翌春のスギナの発生を抑えられる（南相馬市）